

道教關係著書論文目錄

2022 (令和4) 年

横手 裕・孔 詩・脇山 豪 編

前 言

1. 本目錄には、2022年1月から12月までの期間に我國で刊行された、道教及びその周邊領域に関する著書・論文・書評等を収める。
2. 雑誌等に掲載された譯注類は「Ⅱ. 論文」に、學會報告等については「Ⅲ. 書評等」に、それぞれ収める。
3. 掲載順は執筆者姓の第一字の日本語漢字音順とする。執筆者名がアルファベット表記の場合は、Ⅰ・Ⅱ・Ⅲそれぞれにおいて漢字假名表記による執筆者を載せた後にアルファベット順に記す。複数名による執筆の場合は、第一執筆者に準據する。中國人名・韓國人名の場合も日本語音に統一する。
4. 連名による〔譯注〕等の場合は、第一執筆者の姓名の後にのみ「譯注」等と記す。
5. 本誌の過年號「目錄」で掲載されたことのある執筆者の場合は、對象領域が些か外れていても敢えて掲載する場合がある。
6. 十分に注意の下に作業を進めたつもりではあるが、誤脱も少なくないと思われる。お気づきの點をご教示頂ければ幸いである。

Ⅰ. 單行本

- | | |
|--------------|---|
| 赤澤 春彦 | 鎌倉期官人陰陽師の研究 オンデマンド版 吉川弘文館 |
| 新井 大祐 [編] | 中世神道入門：カミとホトケの織りなす世界 勉誠出版 |
| 鈴木 英之 | |
| 大東 敬明 | |
| 荒見 泰史 [編] | 敦煌と東アジアの信仰 敦煌學プロジェクト研究センター |
| 太田 黒 司 | 天草の民俗信仰：山嶽信仰の重層性を解きほぐし、「カクレキリシタン」信仰の受容を読みとく 鑛脈社 |
| 陰陽道史研究の會 [編] | 呪術と學術の東アジア：陰陽道研究の繼承と展望 勉誠出版 |
| 東海林秀樹 | 奇門遁甲呪術：方遁・術遁 説話社 |
| 濱田 優子 | |
| 松山 明輝 | |

- 菊地 章太 儒教・佛教・道教：東アジアの思想空間（講談社學術文庫）
講談社
- 高橋健太郎 眞説老子：世界最古の處世・謀略の書 草思社
- 田中 哲也 老子：自由譯詩集：いのちの詩：道への回歸 文藝社
- 谷中 信一 『老子』河注・王注全譯解 汲古書院
- 土屋 昌明 異文化社會の理解と表象研究 專修大學出版局
- 天理大學附屬天理參考館海外民族室〔編〕 館藏資料から見る神仙思想と道教 天理大學出版部
- 中島 隆博 莊子の哲學 講談社
- 蜂屋 邦夫 中國の水の思想 法藏館
- 蜂屋 邦夫 中國の水の物語：神話と歴史 法藏館
- 平澤 歩 漢代經學に於ける五行說の變遷 汲古書院
- 三尾 裕子 臺灣で日本人を祀る：鬼から神への現代人類學 慶應義塾大學出版會
- 水野 正好 日本のまじなひ：古代・中世の心根にふれる 高志書院
- 水口 拓壽〔編〕 術數學研究の課題と方法 汲古書院
- 山下 克明 陰陽道：術數と信仰の文化 臨川書店
- 山田 俊 金朝道家道教の諸相 汲古書院
- 吉川 忠夫 劉裕：江南の英雄 宋の武帝（法藏館文庫） 法藏館
- 吉村 誠〔監〕 禪の風51 西遊記：そして玄奘の傳説と事績：特集 曹洞宗宗務廳
- 李 松〔著〕 中國道教美術史 漢魏晉南北朝篇 勉誠出版
- 土屋 昌明〔監譯〕
- 齋藤 龍一
- 廣瀬 直記〔譯〕
- 熊坂 聰美
- 因幡 聰美
- 李 穌書 晉唐道教の展開と三教交渉 汲古書院
- 早稻田大學 會津八一記念博物館 古代中國の神話と祥瑞：武氏祠畫像石拓本 早稻田大學會津八一記念博物館

II. 論文

- 赤澤 春彦 中世における陰陽道祭祀の展開：雷公祭・風伯祭を事例に 『アジア遊學』 278
- 浅野 春二 中國における靈魂の儀禮文化：魂魄・五藏の神・三魂七魄と招魂儀禮 『儀禮文化學會紀要』 (9・10)

- 浅野 春二 魂魄雜考：亡人の三魂「不過三寸」をめぐる 『新國學』
復刊14
- 朝山 明彦 「化身土卷」における外教釋：『辨正論』の引用意義を中心に
『龍谷教學』55
- 荒見 泰史 通渭社火：中國農村の正月儀禮と燃燈儀禮についての一考察
『アジア社會文化研究』23
- 荒見 泰史 唐五代敦煌における正月の燃燈儀禮 『敦煌寫本研究年報』
16
- 荒見 泰史 敦煌の西王母信仰と唱導 『古代學研究所紀要』31
- 有澤 晶子 屠隆『曇花記』の表現と三教意識 『文學論藻』96
- 伊 丹 近世の人面瘡説話：善書などをめぐって 『早稲田大學大學
院文學研究科紀要』67
- 韋 立新 儒教思想と貝原益軒の養生觀 『東アジア文化研究』13
- 魏 鳳麟
- 猪飼 祥夫 出土文物に見る神農と扁鵲 『杏雨』25
- 伊藤 聰 中近世移行期における吉田神道の意義 『歴史評論』863
- 井上 浩一 中島孤島譯『(新譯)西遊記』初探 『中國學研究論集』40
- 梅田 千尋 江戸時代の陰陽道認識と陰陽師：呪術書と重寶記 『アジア
遊學』278
- 梅野 光興 いざなぎ流・病人祈禱の呪術 『アジア遊學』278
- 浦山 きか 『鍼灸甲乙經』を読む(4)『甲乙經』序と「史志書目」をよ
む 『Tehamo』3
- 浦山 きか 『鍼灸甲乙經』を読む(5)「目次」を読み解く 『Tehamo』
5
- 遠藤 協 日本神信仰と出会う：民族誌映畫撮影の経験と視點 三尾裕
子編『臺灣で日本人を祀る』慶應義塾大學出版會
- 緒方 宏海 日本の漁民社會における媽祖と船靈信仰の現代的諸相：香川
縣と青森縣大間の事例を中心にして 『香川大學經濟論叢』
95(3)
- 大野 裕司 中國現存最古の傳世擇日書『彈冠必用集』について 『アジ
ア遊學』278
- 王 艷芬 漢代易學與黃老思想研究總述 『ICCS現代中國學ジャーナル』
15(2)
- 王 艷芬 《易傳》與道家思想研究述要：以通行本《易傳》爲例 『愛知
論叢』113
- 王 燕萍 宋代民間信仰研究の回顧と展望 『アジア遊學』277

- 王 玉環 日本近現代河上公注《老子》研究 『中國古典文學研究：廣島大學中國古典文學プロジェクト研究センター年報』 18
- 王 芝鶴 中國古代墳墓の立地における風水思想に関する研究史的考察：秦漢魏晉南北朝を中心にして 『文化共生學研究』 22
- 王 小林 漱石における「無」の思想：莊子・禪から近代哲學へ 『日本漢文學研究』 17
- 太田黒 司 地理的位置關係に基づく天草産島の山嶽信仰の相對性：景觀條件と環境條件を主眼に 『歴史民俗資料學研究』 27
- 大沼 由香
立石 和子
浦山 きか
横手 裕
大橋 由治 看護系大學基礎教育における傳統醫療倫理教育に関する展望 『傳統醫療看護連携研究』 4 (1)
- 岡村 秀典 『廣異記』の運命觀 (2)：何處で運命を啓示するのか 『大東文化大學漢學會誌』 61
- 乙坂 智子 畫紋帶神獸鏡の東傳：型式と鉛同位體比からみた九子派の動態 『東方學報 京都』 97
- 夏 雨 永樂五年靈谷寺普度大齋稱賀詩二首：王偁「蔣山法會瑞應詩」と王褒「聖孝瑞應」 『横濱市立大學論叢 人文科學系列』 74
- 甲斐 勝二 羅祖の傳説における一考察 『日中言語文化』 15
- 梶島 雅弘 「名人傳」小考：『列子』湯問篇孔周所藏寶劍の形象を用いて 『福岡大學日本語日本文學』 31
- 梶島 雅弘 兵陰陽の定義とその行方 『東方宗教』 140
- 川野 明正 中國における孤虛の占法とその變遷について：式占との關わりから 『中國研究集刊』 68
- 河野 訓 シナ海石造獅子・狗犬文化圏からみた沖繩村落守護シーサー：シナ海石造獅子・狗犬文化圏の比較研究 (7) 『明治大學教養論集』 564
- 木内 明 神佛分離の先例としての中國における佛教と固有宗教との相剋：明の世宗・嘉靖帝の佛教抑壓策 『皇學論纂』
- 木下 琢啓 内丹呼吸法の名稱の變遷に見る傳統文化の創出 『ライフデザイン學研究』 17
- 許 曉璐 備後地方の晴明傳説と“末裔”たち 『アジア遊學』 278
- 許 曉璐 『列仙傳』の「服藥」と「服丹」について 『學林』 74
- 許 曉璐 『列仙傳』の服藥を推奨する理由 『學林』 75

- 吳 春燕 五山禪林における『莊子』の受容 『研究會報告/大東文化
大學日本語文法研究會』48
- 黃 信者 「氣」はどのように感じられるのか 『文化人類學』86(4)
黃 昱 『夷堅志』に見られる疫病鬼神と日本における受容 『國文學
研究資料館紀要 文學研究篇』48
- 小曾戸 洋 新收の福井崇蘭館舊藏『黃帝內經太素』平安古鈔本殘卷 『杏
雨』25
- 小林 和彦 臺北孔子廟について：臺北孔子廟と日本との關連に於ての素
描 『關西大學中國文學會紀要』43
- 小南 一郎 目連戲：舞臺上の活化石 『説話・傳承學』30
酒井 規史 吳越國の道教信仰：投龍簡と聖地ネットワーク 『アジア遊學』
274
- 酒井 規史 宋代の道觀：茅山を中心に 『アジア遊學』277
佐々木 聰 『禮緯含文嘉』の諸傳本と近世における天文五行占書の流布
『アジア遊學』278
- 齋藤 英喜 陰陽道の神々と呪術：變貌する「土公神」をもとめて 『ア
ジア遊學』278
- 辛 賢 劉牧易の諸問題：河圖洛書との關わりから 『大阪大學大學
院文學研究科紀要』62
- 鈴置 拓也 井上哲次郎「支那哲學史」を通して見る夏目漱石「老子の哲
學」の特徴 『二松學舍大學東アジア學術總合研究所集刊』
52
- 鈴木 一馨 沖繩における境界呪物としてのシーサーの諸相 『文化財學
雜誌』18
- 鈴木 正崇 女人禁制と山嶽信仰 『哲學』149
鈴木 正崇 山嶽信仰と佛教 『公益財團法人松ヶ岡文庫研究年報』36
臧 魯寧 『抱朴子』における「行」：外篇行品篇を手掛かりに 『中國
思想史研究』43
- 高橋あやの 「歩天歌」と中國・朝鮮・日本 『アジア遊學』278
高橋 眞作 佛儒道三教一致思想の繪畫：三聖圖・三笑圖・三酸圖をめぐっ
て 『アジア遊學』271
- 詫間 直樹 近世の反問儀禮 『アジア遊學』278
武田 時昌 漢代曆運説の形成と數理 『國立歷史民俗博物館研究報告』
233
- 竹宮 英朗 「寒食散」の中醫學的展開に關する一考察 『東方宗教』139

- 竹宮 英朗 『爾雅』に見られる病名に関する一考察 『日中言語文化』
15
- 竹村 則行 『翰苑』及び『遊仙窟』の中國散佚と日本傳存の背景 『中國
文學論集』51
- 田中 文雄 一行禪師の實像と虚像 『豊山教學大會紀要』(50)
- 田中 文雄 一行禪師と天文 『豊山學報』65
- 田中 良明 唐の李淳風の『乙巳占』 『アジア遊學』278
- 張 凱 日本における媽祖信仰初探 『佛教學研究』(77・78)
- 張 振康 南海神廟藏「六侯之記」石刻から見た宋代の廣州 『都市文
化研究』24
- 張 麗山 陰陽道の獨自性と東アジア性：「陰陽師」と「陰陽生」の比
較を中心として 『アジア遊學』278
- 陳 梅郷 臺南市内における日本人の神々：主に航空事故に起因する事
例から 三尾裕子編『臺灣で日本人を祀る』 慶應義塾大
學出版會
- 陳 莉莉 奈良金峯山寺五嶽神鏡探析 『東アジア文化交渉研究』15
- 辻 リン 口承文藝としての宣卷と明末清初の寶卷 『人文論集』61
- 都築 晶子 六朝江南の廟神について：蔣子文神と項羽神を中心に 『名
古屋大學東洋史研究報告』46
- 董 航 「浄土三部經鼓吹」の善書受容に見る淺井了意の對道教態度：
神仙黃白奇術關連説話の利活用を中心に 『近世初期文藝』
39
- 永塚 憲治 房中術に使われる生薬とその特徴：『素女妙論』の春薬を中
心に 『東方宗教』139
- 永塚 憲治 艶本『艶顔色鉢の木』に引用される『醫心方』房内について
『醫譚』115
- 永塚 憲治 <研究資料>寶曆・明和頃刊行の缺題艶本の解題と繙刻 『日
上田 眞生 本研究』65
- 西田 智子 淺見綱齋『易學啓蒙講義』における鬼神概念 『文化交渉：
東アジア文化研究科院生論集』12
- 西山 宜延 明治期における神道教化と神葬祭化：奈良縣十津川村の事例
『神社本廳總合研究所紀要』27
- 二ノ宮 聰 寶卷から見る明代後期から清代初期の碧霞元君信仰 『東方
宗教』138
- 野口飛香留 五山文學にみる賀茂氏と泰山府君 『アジア遊學』278

- 原 英子 臺灣の日本神をめぐる信仰と観光：高雄の保安堂における歴史の選擇と新たな展開 三尾裕子編『臺灣で日本人を祀る』慶應義塾大學出版會
- 春本 秀雄 圖讖と北魏の廢佛について 李弘と劉潔・蓋吳の圖讖禍 『大正大學研究紀要』107
- 范 倩彤 中國東北地區における黒老太太信仰の考察 『東方宗教』140
- 日比野晉也 元明雜劇における全眞教のイメージ 『東アジア文化交渉研究』15
- 廣田 律子 疫病退散祭祀における神兵の役割：中國に居住するミエン・ヤオと周邊の事例から 『東アジア比較文化研究』21
- 廣田 律子 ミエン・ヤオの儀禮食としての豆腐 『食文化誌ヴェスタ：食文化を楽しむ一冊』125
- 深見 純生 海城東南アジアにおける唐代の崑崙 『カンボジアの文化復興』32
- 藤田 衛 現行本『太玄經』范望注が許昂本であることの證明 『東洋古典學研究』53
- 藤野 陽平 英靈と好兄弟のあいだ：メディア言説、現地の實踐、新たなコミュニケーション 三尾裕子編『臺灣で日本人を祀る』慶應義塾大學出版會
- 細井 浩志 陰陽師による天文道・曆道の兼帯について 『アジア遊學』278
- 彭 佳紅 戦争マンガ『風の谷のナウシカ』を『莊子』で読み解く 『東アジア比較文化研究』21
- 堀 誠 『平妖傳』四十回本における妖狐の形象：「妖術」と聞香教 『學術研究 人文科學・社會科學編』70
- 堀 誠 中島敦「悟淨歎異」ノート 『早稻田大學大學院教育學研究科紀要』33
- 町 泉壽郎 江戸時代醫學諸派の身體觀と養生思想 『大倉山論集』68
- 松尾 恆一 餓鬼・孤魂・祀り手のない死靈・と疫病：儀禮文化を學ぶ 『儀禮文化學會紀要』9・10
- 松山由布子 陰陽道の呪術と民俗信仰との繋がり：まじない呪盤書をもとに 『アジア遊學』278
- 眞柳 誠 『神農本草經』の歴史 『日本醫史學雜誌』68
- 眞柳 誠 張仲景以前の中國醫療 (4) 『漢方の臨床』69 (1)
- 眞柳 誠 張仲景以前の中國醫療 (5) 『漢方の臨床』69 (2)
- 眞柳 誠 張仲景以前の中國醫療 (6) 『漢方の臨床』69 (3)

- 眞柳 誠 張仲景以前の中國醫療 (7) 『漢方の臨床』 69 (4)
- 眞柳 誠 張仲景以前の中國醫療 (8) 『漢方の臨床』 69 (5)
- 眞柳 誠 張仲景以前の中國醫療 (9) 『漢方の臨床』 69 (6)
- 眞柳 誠 張仲景以前の中國醫療 (10) 『漢方の臨床』 69 (7)
- 眞柳 誠 張仲景以前の中國醫療 (11) 『漢方の臨床』 69 (8)
- 三尾 裕子 臺灣の民間信仰と日本神 三尾裕子編『臺灣で日本人を祀る』
慶應義塾大學出版會
- 三尾 裕子 植民地經驗、戰爭經驗を「飼いならす」：植民地・戰爭經驗
の記憶の媒體としての日本人の靈魂 三尾裕子編『臺灣で
日本人を祀る』 慶應義塾大學出版會
- 水口 幹記 「東アジアという視點」から考える陰陽道 『アジア遊學』
278
- 水口 幹記 陰陽道・宿曜道別立隆盛の淵源：〈術數文化〉の視點から 『歴
史評論』 863
- 水口 拓壽 金精は華の如く、銀精は龍の如く：『山相祕録』の探鑛法に
見る望氣術と風水術の影響 『中國哲學研究』 32
- 宮澤 正順 王日休と王氏神仙傳について (前半) 『佛教文化研究』 66
- 宮本 紗代 『神仙傳』と六朝までの神仙・神人・真人・仙人像の對比：
超自然現象を中心として 『學林』 75
- 麥谷 邦夫 神仙の世界 『杏雨』 25
- 森 和也 戲作の中の三教：作者と讀者に共有された教え 『東方』 38
- 森 由利亞 朱元育『悟眞篇闡幽』の内丹法：『參同契闡幽』との比較を
軸として 『東方宗教』 140
- 森 由利亞 格物窮理とアフォーダダンス：朱熹とギブソンの對比から 『現
代生命哲學研究』 11
- 山口 えり 古代の東國における陰陽師 『アジア遊學』 278
- 山里 純一 フクロウに滅ぼされた村 『沖繩研究ノート』 31
- 山下 一夫 臺灣皮影戲『高良徳』考 『藝文研究』 123 (2)
- 山下 一夫 臺灣皮影戲における潮州語 『中國都市藝能研究』 20
- 山下 一夫 校正觀世音修行香山記稿 『中國都市藝能研究』 20
- 山下 克明 中世假名曆と『簞篋内傳』：陰陽道概念の近世的展開によせ
て 『アジア遊學』 278
- 山田 明廣 廟神の出自により儀禮に差異は見られるか：臺灣の日本神を
祀る廟と中華神を祀る廟における儀禮・祭祀の比較 三尾
裕子編『臺灣で日本人を祀る』 慶應義塾大學出版會

- 山田 俊 『老子』注釋史に於ける『文子』：『四子古道集解』補論 『熊本縣立大學共通教育センター紀要』1
- 山田 俊 中國近世思想史に於ける司馬光、『法言』、『老子』：性・質・學・諸子を中心に 『熊本縣立大學文學部紀要』28 (81)
- 湯淺 邦弘 清華簡『五紀』に見える黃帝・蚩尤傳承：王權の由來と正當性 『中國研究集刊』68
- 吉田 薫 梁啓超（飲冰）と莊子が辿った「人間世」素描：變法、新民、開明專制を経て 『日本女子大學紀要 文學部』71
- 吉田 一彦 疫病と鬼神をめぐる論點 『佛教文學』47
- 吉原 浩人 日本古代の漢文學における禹の形象：附・湖南省大禹碑探訪記 『多元文化』11
- 林 美容
三尾 裕子
劉 智豪
五十嵐眞子 [譯]
三尾 裕子
田中綱常から田中將軍への人神變質：民族・國家の境界を超える民衆史學 三尾裕子編 『臺灣で日本人を祀る』 慶應義塾大學出版會
- 林 美容
五十嵐眞子 [譯]
三尾 裕子
漂流物が神となる：日本神の外來性解析 三尾裕子編 『臺灣で日本人を祀る』 慶應義塾大學出版會
- 劉 金鵬
佐藤 利行
呂 夢雨
王羲之の思想：老莊思想への懷疑 『中國古典文學研究：廣島大學中國古典文學プロジェクト研究センター年報』18
- 呂 夢雨 「薛紫賢事蹟」についての一考察：諸版本のテキストの對比を通じて 『東方宗教』139
- 六谷 明美 現代社會における漢文の役割：道家の思想を中心に 『研究紀要/東京學藝大學附屬高等學校』59
- 和田 充弘 教訓談義本における心術と道德：田中友水子の『面影莊子』を事例として 『同志社大學日本語・日本文化研究』19

[2021年補遺]

- 浅野 春二 「招兵」儀禮に見られる陰兵を招く方法について：中國湖南省藍山縣の過山ヤオ族を中心に 『瑤族文化研究所 通訊』8
- 荒見 泰史 「神」「佛」理解からみた中國宗教 吉田一彦編 『神佛融合の東アジア史』 名古屋大學出版會
- 大形 徹 富岡鐵齋と洞天福地 『洞天福地研究』10

- 大西 和彦 ベトナムの神佛融合と道教 吉田一彦編『神佛融合の東アジア史』名古屋大學出版會
- 大西 和彦 北部ベトナムの宗教文化：九天玄女信仰の發展 小峯和明編『東アジア文化講座3 東アジアに共有される文學世界：東アジアの文學圈』文學通信
- 大西 和彦 ベトナム東北部ドンチュウ地域の福地《抱福巖》とその周邊『洞天福地研究』10
- 葛 兆光 橋と枳の相違：東アジア道教の概念、方法と立場についての再考『洞天福地研究』10
- 進藤 浩司 寺院の藥：神仙解毒萬病圓について『名古屋大學中國哲學論集』19・20
- 進藤 浩司 傳尸蟲雜考：『急救仙方』と『仁存孫氏治病活法祕方』との比較を通して『名古屋大學中國哲學論集』19・20
- 曾根 正人 多神教としての佛教とその東流：東アジア佛教における神佛信仰の基礎 吉田一彦編『神佛融合の東アジア史』名古屋大學出版會
- 高志 緑 宋代の水陸會にみえる三教融合：南宋佛畫における普度儀禮と使者を中心に 吉田一彦編『神佛融合の東アジア史』名古屋大學出版會
- 土屋 昌明 玄宗の道教における日本への傳教の契機と新羅『洞天福地研究』10
- 廣瀬 直記 「茅君内傳」譯注研究（一）『洞天福地研究』10
- 松本 浩一 臺灣における道教と佛教 吉田一彦編『神佛融合の東アジア史』名古屋大學出版會
- 水越 知 明清時代の祠廟信仰と佛教：城隍廟の冥界裁判を中心に 吉田一彦編『神佛融合の東アジア史』名古屋大學出版會
- 森 和也 平田篤胤は《道教》を研究したか『洞天福地研究』10
- 山下 一夫 第一大洞天と四大懷藥『洞天福地研究』10
- 李 松 中國道教美術史第1卷前言『洞天福地研究』10

Ⅲ. 書評等

- 栗津 賢太 書評とリブライ 朴炳道著『近世日本の災害と宗教：呪術・終末・慰靈・象徴』『宗教と社會』28
- 大形 徹 「漢字文化の展望」を開催して『漢字學研究』10

- 荻米 一志 書評 赤澤春彦編『新陰陽道叢書』第二卷 中世 『日本史研究』 718
- 木場 貴俊 書評 梅田千尋編『新陰陽道叢書』第三卷 近世 『日本史研究』 721
- 志賀 市子 書評 太田出『關羽と靈異傳說：清朝期のユーラシア世界と帝國版圖』 『史學研究』 313
- 清水 浩子 史料紹介 京都大學人文科學研究所藏『天地瑞祥志』第廿翻
洲脇 武志 刻・校注（上）：「祭惣載」「封禪」「郊」 『人文社會論叢』
1
- 鈴木 淳世 書評 朴炳道著『近世日本の災害と宗教：呪術・終末・慰靈・象徴』 『民衆史研究』 103
- 高橋あやの 京都大學人文科學研究所藏『天地端祥志』第七翻刻・校注：
外官（1） 『大東文化大學漢學會誌』 61
- 都築 晶子 書評・新刊紹介 山里純一著『沖繩のまじない：暮らしの中の
魔除け、呪文、呪符の民俗史』 『東方宗教』 139
- 長野 仁 書評 梅田千尋編『新陰陽道叢書：第三卷 近世』 『史學雜
誌』 131（3）
- 東野 治之 富岡謙藏自筆『敦煌莫高窟祕本一神論殘卷』（新杏二三四〇）
『杏雨』 25
- 奈良場 勝 書評・新刊紹介 水口拓壽編『術數學研究の課題と方法』 『東
方宗教』 140
- 馬部 隆弘 書評と紹介 向村九音著『創られた由緒：近世大和國諸社と
在地神道家』 『日本歴史』 888
- 林 淳 書評 吉田一彦編『神佛融合の東アジア史』 『史林』 105（4）
林 淳 陰陽道研究の可能性：『新陰陽道叢書』完結に寄せて 『日本
思想史學』 54
- 藤原 崇人 新刊紹介： 櫻井智美・飯山知保・森田憲司・渡邊健哉（編）
『元朝の歴史—モンゴル帝國期の東ユーラシア—』 『史學
雜誌』 131（1）
- 船田 淳二 書評 向村九音著『創られた由緒：近世大和國諸社と在地神
道家』 『説話文學研究』 57
- 松下 道信 書評・新刊紹介 山田俊著『金朝道家道教の諸相』：金朝に
おける道家道教研究の可能性への挑戦 『東方宗教』 140
- 宮内 肇 串田久治編著『天變地異はどう語られてきたか：中國・日本・
朝鮮・東南アジア』 『立命館アジア・日本研究學術年報』
3

- 宮崎 順子 書評・新刊紹介 水口拓壽著『儒學からみた風水：宋から清
に至る言説史』『東方宗教』139
- 森 由利亞 『道藏輯要』と明清道教國際學術研討會參加記 『東方宗教』
139
- 安田ひろみ 報告 韓國の中華街における媽祖信仰の現状：明の仁川と暗
の釜山 『総合社會學部研究報告』23
- 山下 克明 陰陽道研究の展望：その性格と概念をめぐって 『アジア遊學』
278
- 李 東芹 極樂と地獄への紀行：山西省隰縣小西天と蒲縣東嶽廟を訪ね
て：調査旅行記 『美』216